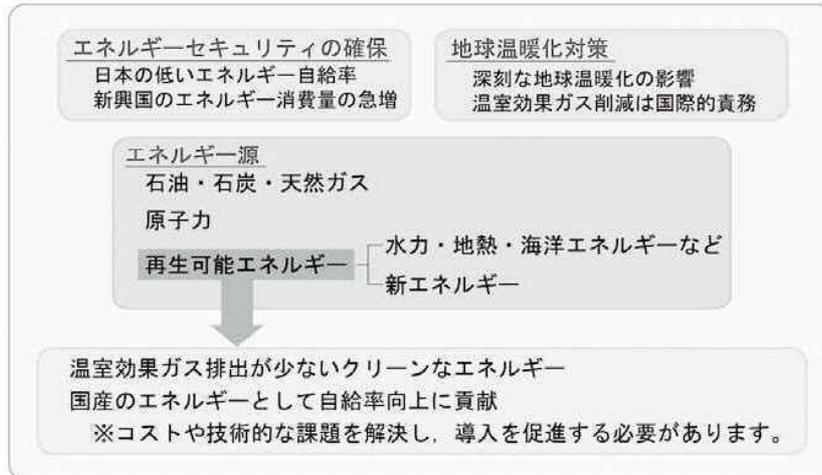


図 1-3 鹿児島県再生可能エネルギー導入ビジョン

ビジョン策定の意義・計画期間

【計画策定の意義】



【計画期間】

2014（平成26）年度～2020（平成32）年度 ※7年間

再生可能エネルギー導入の基本方針と導入目標

【導入の基本方針】

- ①地域特性を生かした導入の促進
- ②温室効果ガスの排出抑制
- ③県民・事業者・行政が一体となった導入の促進
- ④再生可能エネルギーに関する理解・意識の向上
- ⑤関連企業の育成等による地域振興の促進



【導入目標】

区分	導入実績		導入目標	
	2012年度末 (平成24年度末)	2020年度末 (平成32年度末)	2020年度末 (平成32年度末)	2012年度比
発電分野	太陽光発電	147,340 kW	1,000,000 kW	6.8倍
	風力発電	218,415 kW	287,000 kW	1.3倍
	水力発電	255,342 kW	279,000 kW	1.1倍
	うち、小水力発電	6,222 kW	29,880 kW	4.8倍
	地熱発電	60,100 kW	62,000 kW	1.0倍
	うち、バイナリー方式	0 kW	1,900 kW	皆増
	バイオマス発電	57,550 kW	89,000 kW	1.5倍
	海洋エネルギー発電	0 kW	導入事例を数例作る	—
熱利用分野	太陽熱利用	42,771 kL	135,000 kL	3.2倍
	バイオマス熱利用	115,430 kL	131,000 kL	1.1倍
	その他熱利用（下水熱）	0 kL	導入事例を数例作る	—
燃料製造分野	バイオマス燃料製造	426 kL	3,000 kL	7.0倍